

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路整備課

担当課長名：久保 義人

事業名	一般国道492号 川井バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県美馬市木屋平大北 至：徳島県美馬市木屋平川井				延長	1.3km
事業概要	当路線は、香川県高松市から美馬市を經由し、高知県大豊町に至る幹線道路で、第2次緊急輸送路に指定されており、また、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の推進に寄与する重要な路線である。川井バイパスは、「剣山」などの観光施設間の連携強化を図るとともに、幅員狭小や線形不良などの隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的に整備する2車線道路である。					
平成11年度事業化		—		平成12年度用地買収着手	平成12年度工事着手	
全体事業費		43億円		事業進捗率	80%	
計画交通量		1,200台/日		供用済延長	0.6km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.0 (残事業) 3.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 8.0/48.1億円 (事業費：7.7/47.8億円 維持管理費：0.3/0.3億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 27.4/49.6億円 (走行時間短縮便益：25.9/46.5億円 走行経費減少便益：1.4/2.9億円 交通事故減少便益：0.1/0.2億円)	基準年 平成26年度		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.8（交通量 +10%） B/C=3.1（交通量 -10%） 事業費変動：B/C=3.1（事業費 +10%） B/C=3.8（事業費 -10%） 事業期間変動：B/C=3.4（事業期間+1年） B/C=3.4（事業期間-1年）						
事業の効果等 ・防災・減災効果：緊急輸送道路ネットワークの強化による地域防災力の向上。 バイパスルート整備による大型車すれ違い困難区間の解消や線形不良箇所の解消。 ・周辺地域の効果：観光施設へのアクセス向上、物流の円滑化が図られ観光・産業振興につながる。						
関係する地方公共団体等の意見 ・美馬市から早期整備を求める要望がある。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成17年3月に市町村合併（穴吹町、脇町、美馬町、木屋平村）により「美馬市」が発足。 ・平成25年4月に美馬市を含む県西部地域を圏域とする「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・平成25年度までの供用開始は全延長1.3kmのうち0.6km。 ・残事業は、橋梁と取り合い部を含むバイパス部の0.7km						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・地質状況の悪さによって、工事費が増額となり進捗が遅れた。 ・また、用地交渉難航箇所があったが、平成25年度に解決し、現在は隘路はない。						
施設の構造や工法の変更等 ・地質状況が悪く、橋梁下部工において対策工を追加している。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由		・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。				
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。